

韓統連大阪通信紙

自主

チャジュ

338号

2019年4月号

자주

発行 在日韓国民主統一連合  
(韓統連) 大阪本部

〒544-0034

大阪市生野区桃谷3-13-6

TEL06-6711-6377 FAX06-6711-6378

毎月1日発行 購読料 年間3000円

郵便振替 00940-7-314392

民族時報社 大阪支社

3・1独立運動100周年

## 大歓迎を受けた15年ぶりの韓統連母国訪問団

～「反国家団体規定解除」「完全なる名誉回復」に大きく前進～

2019年3月1日。韓国は3・1独立運動100周年で全国が沸き立っていた。ソウルでは、光化門広場で政府と民間が主催する行事が行われ、少し南のソウル市庁前広場ではソウル市主催の行事が、東側の独立運動発祥の地のタプコル公園でも行事が開催され、ソウルの中心街は100年前の独立運動を想起させる「独立万歳」の声であふれていた。そして、その中に15年ぶりに訪韓した韓統連母国訪問団の姿があった。

#### ◆光化門広場の汎国民大会で韓統連議長のメッセージが流れる

訪問団は2月28日、国会で記者会見を行った。京郷新聞などに掲載され、連合ニュースのテロップに「『反国家団体』に追いやられていた韓統連の会員が15年ぶりに入国」と流れる等、メディアの関心の高さがうかがえた。

夜は盛大な海外民主統一人士 母国訪問団歓迎晩さん会があり、国内運動団体と海外代表団とも交流を深めた。晩さん会では韓統連の紹介ビデオが流され、拍手喝采を浴びた。

翌3月1日の午前は、龍山駅前広場で開催された「3・1運動100周年強制徴用労働者像合同参拝(民主労総・韓国労総等が主催)」に参加した。龍山駅は、かつての日本への強制徴用の始発駅で日本軍の基地もあった所だ。宋世一(ソ・セイル)韓統連副議長が発言をし、最後に全員で強制徴用労働者像に献花をした。

午後は「3・1運動100周年特別金曜行動」に参加し、日本大使館へ朝鮮学校に対する差別を糾弾した。その後、近くの光化門広場へ移動し、

汎国民大会に参加。大スクリーンに、今回旅券が発給されずに訪韓できなかった孫亨根韓統連議長のメッセージが流された。韓統連への高い評価に対する感謝とともに「反国家団体」の不当性を国内同胞と共感し、感慨深いものがあった。

夜はソウル市庁内のホールで開催された「3・1運動100周年自主統一民族大会」に海外代表団とともに参加し、熱烈な歓迎を受けた。「自主独立から100年を経て自主統一へ」会場いっぱいにはためく統一旗と「ウリエソウォン(私達の願い)」の大合唱は、ソウルの夜空に響き、3・1独立運動の英霊たちにも届いたことだろう。

#### ◆祖国統一の準備をしよう

今回の訪韓で「韓国は祖国統一の準備をしている」という事を強く感じた。ハノイの朝米会談が合意に至らなかった

とはいえ、朝鮮は確実に統一にむかって進んでいる。日本では感じる事のできないその空気を確信した。在日同胞も祖国統一の準備をしていかなければならない。

具体的には民族大団結、在日同胞の和合を推進していく事だ。そのためにも韓統連の「反国家団体規定」は解除されなければならない。

DMZ(非武装地帯)平和紀行では都羅山駅が印象的だった。キャッチフレーズは「南の最後の駅ではなく、北へ行く最初の駅です」。南北の鉄道が連結するのは夢の話ではない。韓統連が多く在日同胞と日本の友人とともに、統一列車に乗って祖国を訪問する日が来るのも、そう遠い未来の話ではないだろう。(隆)



▲15年ぶりに訪韓した韓統連母国訪問団

## ◆◆情勢◆◆

## 「ハノイ共同声明」は、なぜ幻に終わったのか

## ●異例の幕切れ

2月28日、ベトナム、ハノイ。第2回朝米首脳会談二日目。午前12時に予定されていた午餐会場に人影はなかった。午前10時から行われた拡大会議が延々と続き午後1時半に終了した後、午後2時に予定されていた「共同声明署名式」が中止になったことが明らかになった。異例の幕切れだ。

## ●予想された合意内容

第2回朝米首脳会談の役割は、昨年6月の第1回朝米首脳会談で合意された「シンガポール共同声明」の具体的実践方法を明らかにすることだった。シンガポール共同声明の主要な内容は、①新たな関係の樹立、②平和体制の確立、③朝鮮半島の非核化、の3本柱だ

(第4項目の米兵遺骨の返還問題は、本来なら第1項目に含まれるべき内容だ)。

今回予想された合意内容は、①新たな関係の樹立について：「経済制裁」の段階的解除、相互交流の推進(米国による渡航禁止措置の解除)、相互の首都への連絡事務所の開設、②平和体制の確立について：朝鮮戦争の終結宣言、平和協定締結に向けた南北米中4者協議の開始、③朝鮮半島の非核化について：核実験・ミサイル発射実験の永久中止、ミサイル実験場の永久廃棄、核関連施設の永久廃棄、米韓合同軍事演習の永久中止、が挙げられる。

直前の観測報道でも、終戦宣言(平和宣言)、経済制裁の部分解除、連絡事務所開設などがほぼ確実だろうとされていた。

首脳会談一日目の2月27日、両首脳による単

独会談と拡大晚餐会が行われ満面の笑顔の画像が世界に発信され、ホワイトハウスは28日午後2時から「共同声明署名式」を行うと発表した。それが翌日になって突然中止されたのだ。いったい、その間に何があったのか。

## ●戦争勢力による露骨な妨害策動

世界の耳目がハノイ首脳会談に集中しているまさにその時、米国では下院の公聴会でトランプ大統領の数々のスキャンダルを暴露するコーエン元



▲笑顔で会談を行う朝米両首脳

顧問弁護士の実況中継が延々と7時間にわたって行われていた。公聴会終了後のニュース番組は、コーエン証言をトップで取り上げ、ハノイ首脳会談の扱いははるかに小さく、その内容も「核放棄の確約なしに朝鮮への譲歩は許されない」という否定的なものだった。朝米関係改善に反対する戦

争勢力(軍産複合体)による露骨な妨害策動だ。このような状況を前にして、トランプ大統領は共同声明への署名を取りやめたのだ。直後の記者会見でトランプ大統領は、「実際の合意文も用意された。私が望んだら100%合意文に署名することができた。だが、今日はその合意文に署名することが適切でないと考えた」と語っている。

## ●戦争勢力と平和勢力による熾烈な攻防

戦争勢力は、ハノイ共同声明を阻止した勢いに乗じて朝米関係をシンガポール共同声明以前の状況に戻そうとしている。

今こそ平和勢力は、今回の事態を冷静かつ正確に分析して、「幻に終わったハノイ共同声明」を実践させるために力を合わせて前進しなければならない。(金五)

## 3・1独立運動100周年 韓統連母国訪問団感想文

2月28日～3月3日まで、3・1独立運動100周年韓統連母国訪問団がソウルなどを訪問しました。今回、大阪から参加した方々から感想文を送って頂きましたので掲載します。

### 住む場所は違っても、私たちはひとつ

柳秀根(ユ・スグン)

本国では様々な行事や交流会に参加し、いろいろな方々と出会いました。その中で特に印象に残ったのが3月1日に開かれたタプコル公園から日本大使館前までの平和行進です。

この時、自分が韓青の旗を掲げながら、本国の青年たちと一緒に行進しながら「住んでいる場所は違っても、私たちはひとつなんだ。これこそ本当の統一ではないのか」と思いました。

一方でソウルに到着してから、孫亨根韓統連議長に旅券が出ず、今回の行事に参加できなかったことや、自分と同年代の韓青の仲間や後輩がこの場にいなかったことを考えると、すごく寂しい思いをしました。

最終日の前日、宿舎に戻る前に、韓国青年連帯の方々の前で今回の行事の感想を述べました。私より一つ年下の青年民衆党の盟員が「秀根氏を見ていると、未来の韓青の委員長のように見えてくる」と言われました。すごく驚き、否定しましたが、今回の行事を通じて本当にいろいろな事を学び、貴重な経験をさせて頂きました。今後も韓国に行く機会はたくさん増えてくると思いますが、次回行く時は、もっとたくさんの同胞青年を参加させ、一緒に学べるような機会を使っていきたいと思っています。

最後に、ご支援してくださった先輩の方々、同志の皆さん、本当にありがとうございました。これからも頑張ります。

### 3・1独立運動100周年に参加して

金恒雄(キム・ハンウン)

2019年3月1日、ソウル光化門の空は透き通るような青さでした。100年前のこの日に思いを馳せながら、青い空を眺めていました。

私が祖国統一という言葉を知ったのは、小学校1年生の時でした。東大阪朝鮮第三初級学

校という名の小学校でした。

教室の黒板の上の中央に金日成主席の肖像画が飾ってあり、何か行事があると「キム・イルソンチャングン(金日成将軍)の歌」を歌う学校でした。民族的自負心と母国語を学べたのは良かったと思います。以来50有余年、夢と希望と怒りと不安とあきらめ。いつしか生活に追われ、統一が自分のことではなく、他国の問題のようになっていました。

今から15年ほど前に朝鮮籍から韓国籍に切り替え、年に1～2回ほど韓国を訪れています。初めて韓国ソウルの土を踏んだ時の感動は今も忘れられません。

我が祖国!!ソウルはいつも活気に溢れ、人々の明るさと熱気を感じます。分断国家の悲壮感やピリピリしたものは感じません。発音の悪いたどたどしい韓国語でショッピングや観光などを楽しんだりしながら、自分が韓国人であることの嬉しさを感じます。

今回、韓統連の人たちとソウルを訪れて、忘れかけていた50有余年の祖国に対する思いがよみがえるような熱い気持ちが湧いてきました。祖国では民主化を勝ち取り、今また統一の大偉業に向かう人々のパワーを感じました。

100年前、日本に留学している青年たちが独立宣言を行い、それを機に独立運動、抵抗運動が盛り上がったように、今、祖国統一への不屈の思いと盛り上がりを感じます。

最後に、韓統連の皆さんと今回の催しに参加できて光栄に思います。この催しに誘ってくださった韓統連の皆さんに感謝します。감사합니다

### 私たちはつながっている

金愛子(キム・イジャ)

今回の祖国訪問で感じたのは「私たちはつながっている」ということです。

忘れられないのは最後の会食です。場所は鷺梁津(リャンジソン)水産市場の中にある食堂でした。



実は鷺梁津には、最近できたきれいな水産市場があります。その向かいにある、もともとあった水産市場は現在立ち退きを迫られています。

敷地は広大で退去した店舗が多い中、今も立ち退きを拒み、営業を続けている人たちがいました。水産市場に足を踏み入れると市場の中は薄暗く、天井からは壊れかけた照明器具がたれ下がり、廃墟に迷い込んだような気がします。

韓国映画のノアールの世界です。イ・ジョンジェやファン・ジョンミンが飛び出してくるような雰囲気です。

食事会の場となった店の名前は「水産市場(サソジャン)」。

酒の席が盛り上がり、次々に前に出て来た人たちが乾杯をし、歌を歌います。お酒を飲みながら、あんなに大声で歌ったのは本当に何年ぶりでしょうか。食事会の後、鷺梁津の駅で海外同胞と何度も抱き合い、再会を誓いました。

2月28日の朝米会談で合意が発表されていたら、3日間の酒量は3倍以上になっていたはずです。

行った時は、ミセモンジ(PM2.5)がひどい時期でした。ミセモンジは民族の未来をさえぎる霧のようです。

でも、この霧が晴れた時には、ぬけるように青い空がひろがるはず。次に会うのは統一が実現した日になるでしょう。

いえ、その日が来なくても、来るまで歩き続けるだけです。

真っ青な空の下で、またみんなで祝杯を上げたいと思います。

## 2019年2月28日 ソウルへ

金薫子(キム・フンジャ)

はじめにお断りしておかないといけないが、私に今回、参加資格があったかどうかはわからない。韓統連としては15年ぶりの母国訪問であること

すら知らなかった。それでも思い切って飛び込んだ私に「韓青で昔ウリマル(母国語)を教えてもらった」と30年以上前の記憶をたどって声をかけてくれるなど、皆さんには本当に温かく接していただいた。

個人的には6年ぶりのソウル訪問であった。オモニ(母)の介護、自分の闘病があり、来年には還暦を迎える。人生には限りがあること、行けるときに行かなければ、次はもうないかもしれないことを身に沁みて感じるようになった。キャンドルデモに参加した友がいて、平昌五輪を観戦した友もいて、心の中にくすぶるものがあつたんだと思う。3・1独立運動100周年と聞いたら、な

んとか仕事をやりくりして、身体で感じてみたくなった。臨津閣、西大門刑務所等、確かに個人ではなかなか行けるものではない。

参加にむけて動き始めたところ、2回目の朝米会談の日程が2月27日～28日と発表され、もしやと期待が膨らんだ。事前に文大統領の「終戦宣言もありう

る」との発表もあって光化門通りで祝賀パレードになるのではと胸が躍った。

28日昼に仁川に到着。まずコモ(父の妹)を訪ね再会を喜び合う。除隊になったばかりの孫がいるとのことで、わずかなおこずかいを包み「除隊おめでとう!ご苦労様。テスの子どもが大きくなる頃には私たちの半島に平和と繁栄の時代が来ますように」と記した。ああ、本当にこんな歴史的な日にソウルにいるなんて…。その後、いここに送ってもらおうが渋滞に巻き込まれ、大幅に遅刻してしまう。やっとの思いで到着した瞬間、首脳会談が合意に至らなかったと聞いた。まさか、体中から力が抜けた。

それでも気を取り直して前向きになれたのは、一連の行事を通じて、海外・在日訪問団と韓国側のスタッフの明るさに大いに勇気もらったからである。現地ガイドもとても勉強になりました。皆さんに感謝です。私たちはあきらめない!



▲有意義な4日間を過ごした韓統連母国訪問団

## 第2回朝米首脳会談の評価と 今後の情勢展望について認識を共有する 韓統連セミナー

2月27日～28日に開かれた第2回朝米首脳会談の評価と今後の朝鮮半島情勢について認識を共有するため、韓統連大阪本部主催で「韓統連セミナー 第2回朝米首脳会談と朝鮮半島情勢」が3月31日(日)、国労大阪会館(大阪市北区)で開かれた。

セミナーでは、金隆司(キム・ユンソ)韓統連大阪本部代表委員が主催者挨拶を行った後、金昌五(キム・チャンボム)韓統連大阪本部副代表委員が「ハノイ共同声明は、なぜ幻に終わったのか」をテーマに講演を行った。



▲講演を行う金昌五副代表委員

金副代表は最初に「2月27日から開かれた第2回朝米首脳会談では、両首脳が笑顔で会談を行うなど順調に進み、ホワイトハウスは共同声明署名式を行うとまで発表していたが、突然中止となった」と明らかにした。

金副代表は署名式が中止になった理由について「朝米首脳会談開催中、米国下院でトランプ大統領の元顧問弁護士が大統領のスキャンダルを暴露し、マスコミも大々的に報道した。これは朝米関係改善に反対する勢力による妨害策動であり、これによってトランプ大統領が署名式を取りやめた」と指摘した。

そして今後の展望について▲対話路線の定着による朝米関係の段階的改善、▲民族自主路線に基づく南北関係の発展などを挙げながら「朝米関係改善に反対する勢力の巻き返しを許さず、私たちの力で前進させていこう」と語った。

講演終了後は質疑討論が行われ、続いて、3・1独立運動100周年韓統連母国訪問団活動報告が行われた。報告では映像資料が上映された後、崔誠一(チェ・ソンイル)韓統連大阪本部事務局長が母国訪問団活動の成果を報告するとともに、母国訪問団のメンバーとして参加した在日韓国良心囚同友会の李哲(イ・ Chol)代表から感想が語られ、韓統連セミナーは終了した。

## 統合進歩党 李石基前議員への 不当弾圧の本質を学ぶ 韓統連生野支部定例学習会

3月17日(日)、韓統連生野支部で会員が参加する中、定例学習会が開催された。

今回は「韓国自主・民主・統一運動の現住所ーイカロスの監獄と私たちー」という題目で、金昌範(キム・チャンボム)生野支部代表委員が報告を行い、「解放以降の韓国における自主・民主・統一運動が苦難の歴史を歩むとともに、韓国社会の矛盾から生まれた自生的運動」と語った。

今回の学習会の核心ともいえるのは、2000年に入り、民主労働党の結成から生みの苦しみを伴いながらも、歴史上画期的な統合進歩党の結成と第19代総選挙での大躍進を成し遂げたが、その後、民主国家ではありえない政党強制解散という異常弾圧を受けるとともに、李石基(イ・ソッキ)国会議員に対する不当な逮捕について報告を受けた。ROという存在もしない地下組織が裁判過程でねつ造されるも、結果的に否定はされたが、李石基議員に対しては内乱扇動で有罪判決が下され、先日の3・1特赦でも対象にならなかったなど、異常で不当な弾圧が今も継続されていることを、学習会を通じ認識を共有した。

参加者からは「昔の人民革命党事件や在日留学生スパイ事件などは再審の結果、続々と無罪判決が出ているが、今回の事件に対して司法に矛盾がある」「韓国の今後の民主化を見て取れるのが、李石基議員の釈放を待ち取った時だ」との意見が出された。

学習会の最後には、今回の事件をより詳しく理解できる著書「イカロスの監獄」が紹介され、販売とともに支部からの貸し出しもあるとした。

## ◆◆韓国ドラマ紹介◆◆

# ラストチャンス

## 愛と勝利のアッセンブリー

「国民を幸せにしてあげるのが国家の義務だ。国民はカモでもなく、金づるでもない。国民が国の主だ。この大韓民国で今も、そしてこれからも幸せになれるという信頼を与えたい」。主人公ジン・サンプルが国会で発言する言葉です。

今回紹介する韓国ドラマ「アッセンブリー（原題）」は、韓国では2015年に放送されました。この当時の大統領は朴槿恵です。もし彼女がサンプルの発言する場面を見ていたら、どんな気持ちだったでしょう？

ドラマの舞台となるのは韓国の国会です。サンプルは溶接工として働いていましたが解雇され、仲間と共に復職闘争を行っていました。そんな彼がある日、与党国民党の実力者、ペク・ドヒョン事務総長から国会議員補欠選挙への出馬を要請さ

れます。最初は拒否していたサンプルですが、仲間の死をきっかけに立候補して当選、国会議員として国会に入っていきます。

彼が属する党内では親青派と反青派が対立しており、サンプルも両派からお誘いの声がかかります。しかし、正義感が強いサンプルは一人断青派を名乗り、国会内で孤軍奮闘するのです。

このドラマの面白いところは、一つは正義感が強く、仲間や国民のために働こうとするサンプルの姿であり、もう一つは与党内の権力争いが具

体的であることです。韓国ドラマお得意の甘い恋愛を表現する場面は、ほとんどありません。時々、大統領が出てきますが、電話の声だけです。

韓国ドラマでは珍しい社会派のドラマです。

(ソン)



## ◆行事案内◆

### 4・27板門店宣言発表1周年記念 春季野遊会

日時：5月5日（日）午前11時～

場所：久宝寺緑地公園 ファミリー広場 大阪府八尾市西久宝寺323

参加費：大人：2000円 中・高校生：1000円 小学生以下：無料

※ビールは当日販売します。お茶は無料です。

※おにぎりなどは各自で持参ください。

※目印として黄色いのぼりを立てます。

※雨天中止の判断は、前日午前11時の天気予報を確認して判断しますので、問合せは090-3822-5723（崔）まで連絡ください。

### 編集後記

韓統連母国訪問団の感想文を書いて頂いた皆さん、ありがとうございました。

私も久しぶりにソウルを訪問して、多くの方々から元気もらいました。この元気をもとに、統一マダニ事業など頑張りたいと思います。

(ソン)

